



「第71回佐賀県児童生徒理科研究発表会」に参加しました



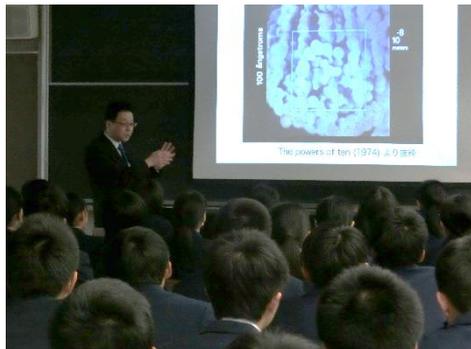
11月10日(土)に、「第71回佐賀県児童生徒理科研究発表会」が、北茂安小学校を会場として開催されました。これは、理科教育の振興と充実を図り、小・中・高等学校児童生徒の科学に対する創造性、研究能力の育成と向上を目指して毎年行われている大会です。

本校からは、科学部、「SSH研究Ⅱ」の物理分野と生物分野から各1班が参加して、発表しました。

「サクラの葉による発芽・成長抑制～新しい農業に向けて～」	教育長賞
「ドミノが速くなる条件」	理振会長賞
「オオクビキレガイに対する忌避効果」	理振会長賞

「リサーチセミナー」を開催しました

11月17日(土)に、理数科1年生を対象に、第5回「リサーチセミナー」を実施しました。佐賀大学工学部機能物質化学科 長田聰史 先生に、「薬理活性分子の設計と化学合成」と題して、2010年にノーベル化学賞を受賞した「鈴木-宮浦カップリング反応」を題材にして、研究課題の見出し方や解決方法について話していただきました。



生徒の感想

- 「先行研究や教科書を参考にして自らの課題研究に活かして行こうと思いました。」
- 「化学は化学、生態学は生態学と別々の分野だと思っていたものが組み合わせることで様々な進展が見られるので、できるだけ多くの分野を学び、研究の幅を広げられるように勉強していこうと思います。」
- 「何事も1つの面から偏った見方をするのではなくて、様々な方向から見るのが大切であることを実感しました。」
- 「課題研究ではこれまでの常識を疑いながら、いろんな視点から新しいものを生み出す研究をしていきたいです。」